

移動販売車支援装置

【成長する移動販売車の現況と移動スーパー販売支援装置について】

高齢者社会が進む日本、特に高齢者が多く住む地域には小売店が少なく、又、存在しない地域もあります。自動車免許書返納している高齢者も多く、買物に出かけることが負担になっています。

個人経営によるものや、移動スーパーを運営する会社（フランチャイズ方式）による業者もあります。固定店に比べ経費が低く済むことで移動販売店の需要は伸びています。

移動スーパーは収益を上げられる反面スピーカー音雑音問題など様々な課題もあります。これから紹介する支援装置はお客様のことも考えて開発されました。

スピーカー音騒音問題：スピーカー音を使用する巡回販売については騒音トラブルが多く、運転手は音響や巡回場所に気を使い販売宣伝をおこなっています。

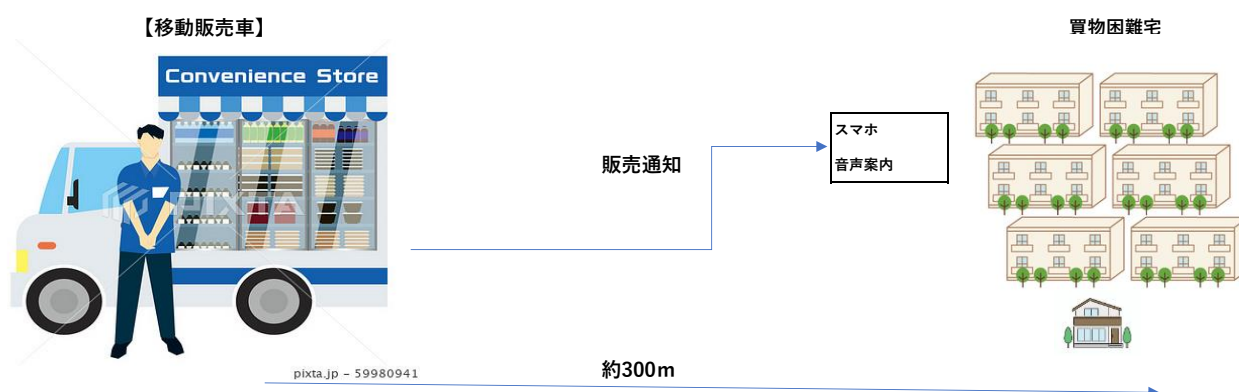
一般に住居地域では音量が55～60dBまでとなっており、学校、病院等の周辺でのスピーカーの使用は禁止です。

多くは巡回する日時を決めて、集落にある空き地や特定の公園に乗り付けて販売を行います。高齢者にとって、生活用品の貴重な入手方法となっており、自治体が移動販売の導入を要請・支援するケースもあります。巡回販売する車両に多くの高齢者を集めることが基本です。

雨の日や時間がずれて到着すると販売音声を聞き逃して集客数を落としてしまうなど、周囲への到着をスピーカー音声だけで知らせる方法には限界があり工夫が必要になっています。

開発メーカーである(株)アートデータが提案する方法は家庭で待機する個人のスマホや、運転手が貸与する専用ユニットを使い販売車が到着したことを音声ガイドで知らせる方法です。

運転手が指定場所に到着したらボタンを押して周囲へ通報できるシステムです。超音波信号を使用する為、周囲への騒音迷惑にならず特売品などのセールス音声も流せるので集客率を高め、売上にも反映させることが可能になります。



メーカー
株式会社アートデータ
<http://www.artdata.co.jp>

(株)アートデータ特約店
有限会社シンクタンク
本社：静岡県沼津市鳥谷346-11
サテライト：埼玉県狭山市水野557-52
※ホームページ <https://thinktank-jp.com>
E-mail：all.thinktank@thinktank-jp.com